

# 京の博物館

## 目次

巻頭言……………	1	現在の加盟会員一覧……………	8
50号発行 記念座談会……………	2	「京発見！ミュージアムへ行こう」 の発行……………	10
「京の博物館—京博連だより—」から 見る京博連のあゆみ……………	6	トピックス……………	11

関西から

文化力  
POWER OF CULTURE

## 巻頭

## 言

## 豊かな社会を築くために

こんどう せいいち  
近藤 誠一

(文化庁長官)

「京の博物館」第50号の発行、おめでとうございます。これまでこの貴重な情報誌の作成に携わってこられた方々のご尽力に敬意を表します。

私が文化庁長官に就任するまでの40年近い外務省生活で感じたことは、日本には洗練された素晴らしい文化的資源がありながら、それを効果的に使うシステムが構築されていないこと、それゆえに折角の文化財や個人の才能が社会づくりに十分生かされていないことです。その結果人びとの心は荒み、自殺の増加やいじめなどの社会現象が起きています。

その背景にあるのは、戦後の経済成長重視の流れが、その役割を終えた後も、惰性で続いていることです。世界の流れは、人びとの生活の質を重んじ、経済成長も量ではなく質を重んじる方向に向かっています。しかし日本ではまだ短期的に数字で計れる成果、すなわち量で是非を判断する風潮が続いています。それが文化の軽視にもつながっています。それは学校、家庭、職場のいずれにおいても然りです。

日本のような成熟した社会は、これからは都市の単位で、その伝統文化や創造的な活動によって付加価値を生みだし、それが市民の生活の中に浸透することで新たな発展を遂げることが期待されています。それが働くひとの生活に潤いを与え、老後の暮しを豊かにし、また将来を担う子供たちの感性を磨きます。社会全体が文化的価値を認識し、そこに地域への誇りと自己の存在の意義を見出すようになって初めて、日本人の力が十分に発揮され、幸福度は増すでしょう。また文

化芸術で磨かれた感性は、直観やひらめき、他とのコミュニケーション能力を生みます。これは科学技術分野においても、社会の連帯のためにも不可欠です。

こうした社会をつくっていく上で、美術館や博物館は重要な使命をもっています。市民が毎日の生活の中で、先人がその魂を注ぎ込んでつくった素晴らしい作品を見、聴き、感じる機会を提供する場と素材をもっているからです。

今後京博連加盟館に期待することが二つあります。第一は、相互に連携し、また学校と協力しながら、子供たちにより展示を見せる機会を増やすことです。その子供たちが将来どのような職業に就くとしても、子供のころに素晴らしい芸術や歴史に感動した体験をもっていることは、本人のみならず社会にとってプラスになるでしょう。第二は危機管理です。今回の東日本大震災で、多くの美術館や博物館とその収蔵品が被害を受けました。火災や天災が起きたときに、迅速かつ効果的に建物を守り、大切な作品を救い出す体制を改めて強化し、常に訓練をすることが重要です。

これらの分野において、京博連が主導的な役割を果たし、全国の美術館・博物館の模範になることを期待しております。



# 「京博連だより」50号発行 記念座談会



参加者：樋口隆康 京博連会長  
筒井紘一 京博連相談役  
細見良行 京博連幹事長  
高桑三男 京都市教育委員会 教育長  
司 会：山本浩智 京博連事務局長

## これまでの歴史を振り返って

**司会：**筒井先生には、京博連の立ち上げの時から関わっていただいています。平成4年から今日までを振り返ってのご感想などをお聞かせください。

**筒井：**当時、パリやロンドンを旅行する人たちの多くがルーブル美術館や大英博物館を訪問しているのに、日本、とりわけ京都には4,000万人もの観光客が訪れていながら、京都国立博物館や京都市美術館を訪問する割合が少ないことを残念に思っていました。



筒井紘一 相談役

京都には、お茶やお花、染・織物、歴史など様々なジャンルのミュージアムが数多くあります。これは世界でも非常に珍しいことです。ひとつひとつの美術館の規模は小さくても、みんなが集まれば大きな美術館を超えるほどの素晴らしいものになるのではないかと考えていた時に、京都市教育委員会から博物館のネットワークを作りませんかと声をかけていただき、喜んで協力させていただきました。

京都市教育委員会には、博物館連続公開講座の開催や博物館ガイドブックの発行など、予算や運営面で積極的に関わっていただいたおかげで、発足当初から100館以上のミュージアムが参加できたことは感謝しています。

**高桑：**京都市教育委員会では、市内に多くある美術館・博物館を有効に活用させていただき、市民が幅広く学べる生涯学習の機会を創出することを目指し

ていました。また、京都の博物館や美術館は、それぞれの分野で立派に独立しておられますが、それらをま



高桑三男 教育長

とめる連絡会のような組織がないことが課題だと感じていました。1館だけでも十分な魅力はありますが、全体として活動することでまた違った魅力を作り出せるのではないかと考え、お声をかけさせていただいたのです。そうして京博連が発足し、博物館ガイドブックのほか、ミュージアムロード、博物館連続公開講座、博物館ふれあいボランティア養成講座など、色々な事業を実施することができました。

**樋口：**私は考古学の研究で京都に来ましたが、京都といえば平安京なのに、平安京を意識するようなものがあまりあ



樋口隆康 会長

りませんでした。発掘調査をしても、平安京の地層へたどり着く前に安土・桃山時代の遺跡が出てきたりして、さらに深く発掘することが難しかったりするので。

しかし、京博連の役員を引き受けることになって、お茶やお花をはじめ、染色、工芸、日本画など、多岐にわたる専門的なミュージアムを訪れ、平安京から脈々と引き継がれている文化性の豊かさを肌で感じるができるのは、京都の素晴ら

しさであると実感しています。この奥深い専門性と200館を超える幅広いネットワークをより有効に活用できれば、まだまだ京都の強みを発揮できると思いますね。要は、ミュージアム相互が仲良く、気軽に交流できることが大事です。

**高桑：**200を超える加盟館の中には大学のミュージアムやお寺の宝物館なども含まれていて、教える側の人材も豊富で、幅広く生涯学習に取り組む環境として京都は最も恵まれている都市と言えます。今後は更に一歩進んで、単に興味のある分野を学ぶだけで満足するのではなく、学んだことを社会に発信し、多くの人に還元できるシステムが構築できればいいと思います。

**筒井：**私が教員をしている京都造形芸術大学には通信課程があって「京都だから」という理由で地方から来ている人がたくさんいて、京都を楽しみながら勉強していますね。

**高桑：**そういう滞在型の生涯学習はいいですね。京都の博物館で知識を得て、京都から創造力豊かな人材に羽ばたいてほしいです。

**筒井：**夢物語ですが、京博連で大学院大学が作れたらいいですね。考古学は樋口先生に教えていただけるし、琳派はあなたが（笑）。（細見幹事長に）

**司会：**細見美術館では、市内の大学と連携し、多くの大学生に美術館に来ていただく取組をされていますね。

**細見：**学生がなかなか来なかったんです。そこで、京都

造形芸術大学に  
お願いして大学  
に法人会員に  
なってもらい、  
学生・教職員の  
入館料を無料に  
する取組をス



細見良行 幹事長

タートし、今では7つの大学と提携しています。

夏には「アートキャンパス」という名称で、学生にも理解しやすい展覧会を開催して、講演会なども行っています。

**筒井：**茶道資料館でも16の大学と提携しています。扇子作りとか、お軸づくりとかの体験講座や親子で行うワークショップなどは人気が高いですね。お茶を知ってもらいたい取組だと思っています。



## 京博連を取り巻く環境の変化

**司会：**加盟館が200館を超える一方で、ここ数年で休館されるミュージアムが数館出ています。京博連を取り巻く環境も大きく変化していますが、皆さんはどのように感じておられますか。

**細見：**近年特に顕著なのですが、京都に著名な展覧会が来なくなっています。ここ10年で京都に来た大きな展覧会と言えば、「ルーヴル美術館展」、「大レンブラント展」ぐらいで、多くが大阪や神戸に流れています。

岡崎にある京都市美術館は、立派な建物で素晴らしいコレクションを持っておられる日本のオルセー美術館のような所だと思いますが、ミュージアムカフェやショップを作るなど、さらに工夫されればもっと多くの集客も見込めると思うのですが…。

現在、京都国立博物館や京都文化博物館は常設展示の充実を図っておられます。一方、京都には芸術系大学が多いにも関わらず、若手の現代美術作品を発表するための現代美術館がありません。毎年多くのアーティストの卵を輩出しておきながら、それを育て、孵化するための設備が整っていないのは、とても残念に感じます。

**高桑：**現在、教育委員会では、京都の芸術系7大学と連携して、小中学生がアートに触れる取組を進めています。



## 京博連の将来に向けて

**司会：**京博連は来年で発足20周年を迎えますが、今後の京博連活動に望むことなどがあれば、お聞かせいただけますか。



**樋口：**やはり博物館のネットワークを充実させてほしいですね。1館だけではできないことでも、複数の館と協力すれば可能性が広がります。近くの館同士が協力するなど、できることから取り組むことが重要だと思います。

**筒井：**10年ほど前から、今出川通周辺に位置する日本画とお茶の美術館でネットワークを作って、展示会の情報を載せたリーフレットを製作・配布などしています。

まだ計画の段階ですが、次は楽美術館、大西清右衛門美術館、茶道資料館など、お茶に関連する美術館を集めた冊子を作りたいと思っています。樋口会長が言われるように、これからは同じエリアやテーマで集まった加盟館が協力しあって何かをすることが、活性化に向けた有効な手段となります。



**細見：**京博連の諸先輩方が、発足からこれまで長年にわたって様々な取組を行っていただいたことで組織

としての下地ができ、また、新たな加盟館の増加により200館を超える陣容となったことで、京博連として、より積極的、能動的に活動するための条件が整ったと感じています。

例えば、エリアやテーマ毎のネットワークづくりや新たな取組の提案など、これまでの「幹事会」とは違い、自ら率先して集う「部会」のような組織を立ち上げ、京博連から発信していけるような体制づくりを進めたいと考えています。幹事の皆さんとも相談しながら、今年中には幹事長として20周年に向けた新たな取組の方向性をお示しいと思っています。

**高桑：**自然科学系の博物館では、既に独自のネットワークを作って活動されています。京博連も、



20周年を契機として、館独自の取組の充実とあわせ、複数の館が協力するなど、切磋琢磨しながら積極的な取組をお願いしたいと思います。

また、各館を運営されている責任者の方が京博連の中でどのようなことに取り組みたいのか、改めて伺ってみるのも必要ではないかと思っています。

**細見：**皆さんの意見を伺っていると「機は熟した」と感じるので、ぜひ京博連のブランド力を高めるような取組を、20周年の記念事業として推進していきたいと思っています。

**司会：**今日は貴重なお話をお聞かせいただき、ありがとうございました。

# 「京の博物館—京博連だより—」から見る京博連のあゆみ

## ● 平成7年9月に創刊

本誌「京の博物館」が創刊されたのは今から16年前、平成7年9月のことです。平成4年の京博連立ち上げから3年、市内博物館施設のネットワーク化をすすめていく中で、会員相互の連絡・情報交流の機会として、また外部に対しては情報発信を行う手段として、平成7年の京博連総会で、情報誌を刊行することを決定しました。



## ● 「京博連だより」創刊号を読んでみる

創刊号では、当時の京博連代表幹事・筒井紘一氏（現・京博連相談役）から巻頭言をいただきました。そのほか、京都市教育委員会・大森寿人生涯学習部長（当時）のメッセージや、会員を対象にした京博連総会の実施報告や新役員紹介などを掲載しています。

## ● さまざまな特集から

第5号（平成8年）では、同年の京博連総会における富山秀男京都国立近代美術館長（当時）の御講演「世界の博物館・日本の博物館を語る」の中から、博物館運営についての御意見をまとめて掲載。今改めて読み返しても、考えさせられる内容です。

第6号（平成9年）では、前年の11月に開催した「ミュージアムロード」のルポを大きく掲載。現在は、加盟館の御協力をいただきながら館をつなぐスタンプラリーを実施し、近隣府県にお住まいの方や、遠方からの観光客からも広く好評をいただいている京都ミュージアムロード。平成8年には、京都市生涯学習の日と定められた、11月の第2土曜日を中心に、京都市生涯学習総合センター展示ホールで、3日間にわたる合同展示会として開催しました。貴重な展示品の御提供や、実演・体験コーナーの設営など、多数の加盟館から御協力をいただき、会場は集まった市民でにぎわいました。



## ● 京博連設立5周年の記念事業を開催

京博連が設立5周年を迎えた平成9年には、京都市国際交流会館で京博連5周年記念事業を盛大に開催。版画家の山本容子さんの記念講演もあり、京博連会員のほか、市民の方にも多数参加をいただきました。

また、この時から、京博連加盟館において永年勤務され、館の発展に貢献された方等を対象とした京博連表彰式典も始まりました。さらに翌年度総会では、新役員体制として会長職を新たに設けることも決定。京博連だより第10号では、初代会長に就任された、泉屋博古館の樋口隆康会長からのメッセージを巻頭に掲載しています。



## ● 博物館ふれあいボランティアの養成を開始 ……………

博物館施設で活動するボランティアの養成について検討を続けた結果、平成11年度に「第1回 京都市博物館ふれあいボランティア養成講座」を、京都市教育委員会と共催で実施することになりました。この時、初めての養成講座を修了された45名のボランティアのうち、10名の方が、今も京都市博物館ふれあいボランティア「虹の会」会員1期生として、活動されています。

また、ボランティアの皆さんには、市民ボランティアが加盟館をたずねる「京のかるちゃーすぽっと みてある記」コーナーや、美術館・博物館にまつわる思い出などを語っていただく「美術館・博物館と私」コーナーで、この「京の博物館」の制作に際し長く御協力をいただいています。

## ● 京博連10周年を迎えて「京博連ロゴデザイン」を発表 ……………

設立10周年を迎え、平成14年12月に「お祝いの会」が開催されました。会場は、雅楽器博物館による雅楽演奏や、樽酒の鏡開きも行われ、祝賀ムードに。その席で、「京博連」ロゴデザインが発表されました。創案は、当時、京都市立芸術大学で教授をつとめておられた向井吾一氏。ロゴは会員証（プレート）やステッカーに活用し、会員の皆様から好評をいただきました。



## そのほか、こんな事業がありました

### ○地下鉄東西線開通を記念して・・・

平成9年の地下鉄東西線開通を記念し、その沿線に立地する博物館施設の御協力のもと「地下鉄東西線に乗って博物館を回ろう！GOGOスタンプラリー」を行いました。沿線の10館のうち、5館以上まわった方には抽選で記念品を進呈する企画でした。

### ○博物館の防犯対策を考えて・・・

平成11年には、京都府警から講師を招き、京都中央信用金庫に会場を御提供いただいて、「博物館施設における最近の犯罪情勢と防犯対策について」というテーマでお話を伺いました。

### ○「文化ボランティア推進モデル事業」の委嘱

平成15年、京博連の「京都市博物館ボランティア総合育成事業」が、「平成15年度文化ボランティア推進モデル事業」として文化庁から委嘱されることになりました。その一環として行ったボランティア交流会の中で、当時の文化庁長官・河合隼雄氏と樋口隆康会長との対談を行い、榊原吉郎顧問（当時）にも進行役として御参加いただきました。

### ○「京のかるちゃーすぽっと」付録にCD-ROM

発行以来、改訂を重ねて現在第5版が発売中の京都市内博物館ガイドブック「京のかるちゃーすぽっと」。平成15年に発売された第4版では、子どもの学びにも役立つ内容のCD-ROMが付録に。

平成7年に発行を開始した「京の博物館」も、本号で50号を迎えました。今後は、発行形態や情報発信のあり方などを検討しながら、これからも京博連の取組を会員の皆様や市民の皆様へ広くPRできるよう努めてまいります。

京都市内博物館施設連絡協議会 会員

正 会 員 (203 館)

1	朝日新聞京都工場	39	京都嵐山オルゴール博物館	77	京都造形芸術大学芸術館
2	安達くみひも館	40	京都花鳥館	78	京都大学研究資源アーカイブ映像ステーション
3	嵐山モンキーパークいわたやま	41	京都祇園らんぶ美術館	79	京都大学総合博物館
4	井伊美術館 (旧称 中村甲刀修史館)	42	京都御苑	80	京都大学百周年時計台記念館歴史展示室
5	池大雅美術館	43	京都ギリシアローマ美術館	81	京都橘中学校・高等学校資料館
6	いけばな資料館	44	京都芸術センター	82	京都伝統産業ふれあい館
7	一燈園資料館「香倉院」	45	京都工芸繊維大学 美術工芸資料館	83	京都陶磁器会館
8	井村美術館	46	京都国際マンガミュージアム	84	京都當道会会館
9	梅小路蒸気機関車館	47	京都国立近代美術館	85	京都ハンディクラフトセンター
10	永楽屋 細辻伊兵衛商店 町家手拭ギャラリー	48	京都国立博物館	86	京都府京都文化博物館
11	遠藤剛熙美術館	49	京都嵯峨芸術大学附属博物館	87	京都府立植物園
12	大河内山荘	50	京都市学校歴史博物館	88	京都府立総合資料館
13	大谷大学博物館	51	京都市環境保全活動センター (京エコロジーセンター)	89	京都府立陶板名画の庭
14	大西清右衛門美術館	52	京都市考古資料館	90	京都府立堂本印象美術館
15	大宮交通公園	53	京都市国際交流会館	91	京都万華鏡ミュージアム姉小路館
16	小倉百人一首殿堂 時雨殿	54	京都市嵯峨鳥居本町並み保存館	92	京都民芸資料館
17	お辨當箱博物館	55	京都市市民防災センター	93	京の田舎民具資料館
18	オムロンコミュニケーションプラザ	56	京都市青少年科学センター	94	京のじゅばん&町家の美術館 紫織庵
19	思い出博物館	57	京都市東部クリーンセンター	95	京焼 清水焼工芸館
20	表千家北山会館	58	京都市東部山間埋立処分地 (エコランド音羽の杜)	96	清水三年坂美術館
21	織成館	59	京都市動物園	97	ぎをん思いで博物館
22	ガーデンミュージアム比叡	60	京都市東北部クリーンセンター	98	キンシ正宗・堀野記念館
23	雅楽器博物館	61	京都市南部クリーンセンター	99	鞍馬山靈宝殿
24	桂坂野鳥遊園	62	京都市南部資源リサイクルセンター	100	京北さんさと民俗資料室
25	何必館・京都現代美術館	63	京都市廃食用油燃料化施設	101	K C I ギャラリー (京都服飾文化研究財団)
26	河井寛次郎記念館	64	京都市美術館	102	月桂冠大倉記念館
27	川島織物セルコン 織物文化館	65	京都市文化財建造物保存技術研修センター	103	高台寺掌美術館
28	眼科・外科医療博物館	66	京都市北部クリーンセンター	104	高津古文化会館
29	漢検 漢字資料館	67	京都市北部資源リサイクルセンター	105	高麗美術館
30	観峰美術館	68	京都絞り工芸館	106	広隆寺靈宝殿
31	北野天満宮宝物殿	69	京都賞ライブラリー	107	香老舗松栄堂 (お線香製造工程見学)
32	北村美術館	70	京都市立芸術大学芸術資料館	108	古典の日記念 京都市平安京創生館
33	北山杉資料館	71	京都市立洛陽工業高校創立百周年記念資料館	109	コトブキ陶春 (展示・清水焼見学コース)
34	絹の白生地資料館 伊と幸ギャラリー	72	京都市歴史資料館	110	小堀京仏具工房 京仏壇京仏具資料館
35	ギャラリー-妖精村	73	京都精華大学ギャラリーフロール	111	駒井家住宅 (駒井卓・静江記念館)
36	京菓子資料館 (ギルドハウス京菓子)	74	京都生活工芸館無名舎	112	小松均美術館
37	京指物資料館	75	京都 清宗根付館	113	近藤悠三記念館
38	京セラ美術館・京セラファインセラミック館	76	京都青鞥会会館	114	金比羅絵馬館



115	三十石船月見館	145	東映太秦映画村映画文化館	175	本能寺 大寶殿
116	三千院 円融蔵	146	同志社大学 Neesima Room	176	益富地学会館
117	J R 稲荷駅ランプ小屋	147	東寺宝物館	177	松尾大社宝物館・お酒の資料館
118	史跡岩倉具視幽棲旧宅・対岳文庫	148	東福寺 光明宝殿	178	松本明慶佛像彫刻美術館
119	實相院	149	豊国神社宝物館	179	三栖閣門資料館
120	思文閣美術館	150	虎屋 京都ギャラリー	180	水野克比古フォトギャラリー 町家写真館
121	島津製作所 創業記念資料館	151	並河靖之七宝記念館	181	壬生寺 文化財展覧室
122	社家・西村家庭園	152	新島旧邸	182	宮井ふろしき・袱紗ギャラリー
123	寂光院 宝物殿 鳳智松殿	153	西川油店	183	三宅八幡神社 絵馬展示資料館
124	相国寺承天閣美術館	154	西陣織会館	184	無鄰菴
125	城南宮神苑水石亭	155	西陣織工芸美術館 松翠閣	185	元離宮二条城
126	森林総合研究所関西支所 森の展示館	156	西陣くらしの美術館 冨田屋	186	八つ橋庵とししゅうやかた
127	角屋もてなしの文化美術館	157	二條陣屋 (重要文化財 小川家住宅)	187	柳原銀行記念資料館 (京都市人権資料展示施設)
128	清涼寺霊宝館	158	日図デザイン博物館	188	山口家住宅 苔香居
129	泉屋博古館 (住友コレクション)	159	日本髪資料館	189	友禅美術館古代友禅苑
130	泉涌寺宝物館心照殿	160	仁和寺霊宝館	190	ユキ・パリス コレクション
131	千本釈迦堂 大報恩寺 霊宝殿	161	乃木神社宝物館	191	養源院
132	象彦漆美術館	162	野村美術館	192	陽明文庫
133	染・清流館	163	博物館さがの人の家	193	善峯寺 寺宝館 文殊堂
134	大覚寺 霊宝館	164	箔屋野口	194	頼山陽書斎山紫水明處
135	醍醐寺霊宝館	165	橋本閑雪記念館	195	洛東遺芳館
136	大將軍八神社方徳殿	166	花園大学歴史博物館	196	樂美術館
137	竹の資料館 (京都市洛西竹林公園)	167	琵琶湖疏水記念館	197	立命館大学国際平和ミュージアム
138	智積院宝物館・庭園	168	風俗博物館	198	龍谷大学 龍谷ミュージアム
139	千總資料館	169	藤井齊成会 有鄰館	199	龍安寺
140	茶道資料館	170	藤森神社宝物殿	200	霊山歴史館
141	中信美術館	171	伏見城跡出土遺物展示室	201	黎明教会資料研修館
142	長楽寺 収蔵庫	172	佛教大学宗教文化ミュージアム	202	六波羅蜜寺 文化財宝物館
143	ソラッティ千本 (京都市人権資料展示施設)	173	宝鏡寺門跡	203	Wacoal Museum of Beauty
144	Tin Toy & Doll Museum	174	細見美術館		

### 賛助会員 (20 団体)

1001	朝日新聞京都総局	1008	公益財団法人 京都市文化観光資源保護財団	1015	京都放送
1002	池坊短期大学むろまちアートコート	1009	京都商工会議所	1016	株式会社 大丸松坂屋百貨店 大丸京都店
1003	NHK 京都放送局	1010	京都新聞社	1017	同志社大学
1004	京都画廊連合会	1011	京都高島屋グランドホール7F	1018	美術館「えき」KYOTO
1005	社団法人 京都市観光協会	1012	社団法人 京都府バス協会	1019	毎日新聞社京都支局
1006	京都市教育委員会	1013	NPO法人 京都文化協会	1020	読売新聞京都総局
1007	公益財団法人 京都市生涯学習振興財団	1014	財団法人 京都文化交流コンベンションビューロー		

※平成23年8月31日現在。五十音順

# 京発見！ミュージアムへ行こう を発行

平成23年10月下旬頃、京博連では、京のまちかど博物館ハンドブック「京発見！ミュージアムへ行こう」を発行いたします。

京博連が発行する博物館ガイドブックとしては、従来から作成・発行し、現在第5版が発売中の、京都市内博物館ガイドブック「京のかるチャーすぽっと」があります。こちらは各館について詳しく紹介し、英文対訳もつけるなど国内外から好評をいただいておりますが、長時間持ち歩いて街歩きをするにはいささか重いという事情から、会員からも「気軽に持ち運べる本が必要では」という声をいただいております。

そこで今回、正会員が200館に達するという節目を迎えたこともあり、「京のかるチャーすぽっと」とは別に、気軽に持ち歩けるコンパクトな冊子を発行する運びとなりました。会員の皆様には、本ハンドブックの発行にあたって御協力をいただき、誠にありがとうございました。

## ▶コンパクトながら、内容は充実

全80ページ（カラー）。1ページにつき4館を紹介する「施設紹介」コーナーで各館の内容をコンパクトに紹介するとともに、京都市全体図やエリアごとの地図・鉄道路線図などの交通案内情報で、各館へのアクセス方法も分かりやすく案内しています。また、「あの名画、あの名品」、「心和む庭園」、「こだわりコレクション」など、様々な視点から6つの特集を組むなどの特集面も充実した内容となっています。



## ▶全国主要都市の書店で販売

今回発行するハンドブックは、京都市内はもちろん、全国の書店の本棚にも並びます。京都が好きで、何回も訪れたけれど、京都の博物館施設には行ったことがない…という方には、ぜひこのハンドブックで京都の新しい魅力を知っていただき、次に京都に来られる際には博物館施設にも足を運んでいただければと思っています。

また、京都観光を考えておられる方にもぜひ手にとっていただき、旅の計画に、街歩きのお供にと、お役立ていただければと思います。



## 平成23年度 京博連総会を開催！

さる7月8日(金)、左京区の黎明教会資料研修館にて、平成23年度「京博連総会」が盛大に行われました。館近くの黎明ホールにて、61会員、89名が出席して、22年度事業の報告と、23年度事業の承認が行われたほか、来年20周年を迎える京博連の今後について、細見良行幹事長からコメントがありました。

当日は来賓として門川大作市長、高桑三男京都市教育委員会教育長をお迎えし、樋口隆康京博連会長にも御臨席いただきました。また、総会スタッフとして、博物館ふれあいボランティア「虹の会」会員にも御協力いただきました。

議事終了後は、滋賀大学の<sup>なかむらしろう</sup>中村史朗教授から「書の魅力 - 光悦とその周辺 -」と題した御講演をいただき、黎明教会資料研修館の「夏季美術展」を見学したほか、同建物内で軽食を準備した交流会を行い、出席会員同士、話はずんで活発に情報交流も行われ充実した会となりました。



会場館・栗田光雄館長の挨拶



議事風景

### 「京博連表彰」御受賞,お祝い申し上げます



樋口隆康会長から表彰状と記念品を授与

京博連加盟館において永年にわたり勤務され、博物館施設の充実・発展、文化の向上に寄与された方々の表彰式が行われました。樋口隆康会長から賞状と記念品が贈呈されました。あわせて、門川大作市長から市長感謝状が手渡されました。



門川大作市長から感謝状を授与

功 勞 賞	京都市歴史資料館	伊 東 宗 裕
奨 励 賞	京都国立博物館	天 野 千 代 子
	京都国立博物館	岩 崎 敏 之
	京都国立博物館	牧 義 毅
	京都国立博物館	山 川 暁
	京都市動物園	岡 橋 要
	古典の日記念 京都市平安京創生館	長 宗 繁 一
	茶道資料館	余 田 雅 子
	並河靖之七宝記念館	井 尻 嘉 文

(敬称略)

## 平成23年度「博物館連続公開講座」開催のお知らせ

市民の皆様から好評をいただいています「京都市博物館連続公開講座」を、加盟館の御協力のもと、今年度も10月から5回にわたり開催します。

第1回は小堀京仏具工房 京仏壇京仏具資料館にて10月7日(金)に、第2回は同志社大学Neesima Roomにて11月8日(火)に、第3回は龍谷大学 龍谷ミュージアムにて12月16日(金)に開催します。また、第4回は藤井齊成会 有鄰館、第5回は京指物資料館での開催を予定しています。

★本講座は京都市教育委員会との共催であり、各講座ごとに、京都市が発行する広報誌『市民しんぶん』等で参加者を募集(平成23年9月号から)。参加無料。

## 新規加盟館の紹介

本年度の第1回幹事会(5月)および第2回幹事会(8月)において、新たに5会員が加盟されました(いずれも正会員)。

- |  |                                       |
|--|---------------------------------------|
| ・京指物資料館<br>(中京区夷川通堺町西入の絹屋町129番地)           | ・虎屋 京都ギャラリー<br>(上京区一条通烏丸西入)           |
| ・京都大学百周年時計台記念館歴史展示室<br>(左京区吉田本町)           | ・龍谷大学 龍谷ミュージアム<br>(下京区西中筋通正面下る丸屋町117) |
| ・ぎをん思いで博物館<br>(東山区川端通四条上る常磐野町178番地 北座ビル5階) |                                       |

※平成23年度の名簿作成時点で、代表者が未決定となっておられました賛助会員について、代表者が決定しましたのでお知らせします。 ・池坊短期大学むろまちアートコート 中西 進 学長

## 各種講座・展覧会などのイベント情報の広報にはこちらを御活用ください!

リニューアルしました!



京都市生涯学習情報検索システム <http://miyakomanabi.jp/>

みやこ

京まなびネット

京まなび 検索

京まなびネットは「学んでみたい」あなたと「学んでもらいたい」あなたをつなげる生涯学習情報満載のホームページです。

幅広い市民の方々を対象としたイベント・講座、展覧会のお知らせやボランティア等の募集情報をはじめ、施設情報、関係団体の活動情報などを掲載しています。

加盟館におかれても、多彩な「学びの場」の情報を、どんどん御提供ください!

○分野や実施日、場所などの条件を指定し、ニーズに合わせた情報検索が可能!

○主催館がホームページ上でイベント情報等を直接登録。新鮮でタイムリーな情報を提供!

※ F A X ・電子メールによる情報登録も受け付けております。

情報の登録方法は、上記ホームページ内の「新規登録団体募集」ページ または 下記までお問い合わせください。

【問合せ】 京都市教育委員会 生涯学習部 生涯学習推進担当  
TEL (075) 251-0410 FAX (075) 213-4650



発行 平成23年9月

編集・発行者 京都市内博物館施設連絡協議会事務局(京都市教育委員会 生涯学習部内)

所在地 〒604-8064 京都市中京区富小路通六角下る 元生祥小学校内 TEL:(075)251-0410 FAX:(075)213-4650

ホームページ [http://www.city.kyoto.lg.jp/kyoiku/soshiki/29-17-1-0-0\\_13.html](http://www.city.kyoto.lg.jp/kyoiku/soshiki/29-17-1-0-0_13.html)